

市政報告会にご参加のみなさまへ

～円滑な進行のため お願いとご案内～

本日は限られた時間の中で、より多くのみなさまからのご質問にお答えできるよう

1 ご質問は、市政報告会の内容に関するものを優先させていただきます。

その他のご意見やご質問につきましては、ご質問の内容によって後日回答となる場合もございますのであらかじめご了承ください。

2 ご質問は、なるべくおひとり1回にまとめていただきますようお願いいたします。

より多くの方にご発言いただけるよう、ご協力をお願いいたします。

3 事前にお寄せいただいたご質問については、回答のみを報告させていただきます。

多くのご意見を共有させていただくためにご理解のほど、よろしくお願いいたします。

令和7年度市政報告会 次 第

日時:令和7年6月26日(木)
18時30分～
会場:牛堀公民館大会議室

1. 開会
2. 執行部出席者紹介
3. 来賓紹介(杉田茨城県議会議員)
4. 市政報告(市長あいさつを兼ねて報告)
5. 市政報告に対する質疑応答
6. 事前質問に対する回答報告
7. 閉会

暮らしを愉しみ市民が活躍する「水の郷」

～将来都市像～

令和7年度 潮来市 市政報告会

令和6年度 主要事業の実績報告

令和6年度 主要事業の実績報告

★市民協働分野

・地域おこし協力隊事業

協力隊の採用に向けたおためし地域おこし協力隊を実施

2回実施（12月、R7.2月）

協力隊の採用に向けた地域おこし協力隊インターンを実施

1回実施（9月～11月 3カ月間）

★保健・医療・福祉分野

・子育て応援サポート事業 切れ目のない子育て支援

妊娠された方へ授乳服等贈呈、1歳児読み聞かせ絵本プレゼント

小学校入学児へランドセル支給 184名

新中学生へ自転車ヘルメット無償支給 221名



・特定医療機関誘致助成事業 新たな診療所開設する医療機関等費用の一部助成

循環器内科専門医院(R7年5月26日開業)

・予防接種事業 带状疱疹ワクチン費用の一部助成(市内在住満50歳以上)

1回 4,000円助成



令和6年度 主要事業の実績報告

★行財政分野

- ・**潮来市DX推進事業** 定型業務をAIに置き換える
あやめまつり期間中の問い合わせAI電話（あやめまつり期間中のみ）
ごみの分別AI電話

★教育・文化分野

- ・**前川運動公園整備事業** スポーツツーリズムの推進として人工芝サッカー場の新設
多目的広場において人工芝サッカー場の新設工事中
工事期間： 令和7年9月まで
※工事の状況により変更となる場合があります

【令和6年度の実績】

稼働率 95.8%

※大雨、台風などで使用できない日を除けば、ほぼ100%

延べ利用者数 45,430人

合宿や大会での市内宿泊数 約1,336日泊



令和6年度 主要事業の実績報告

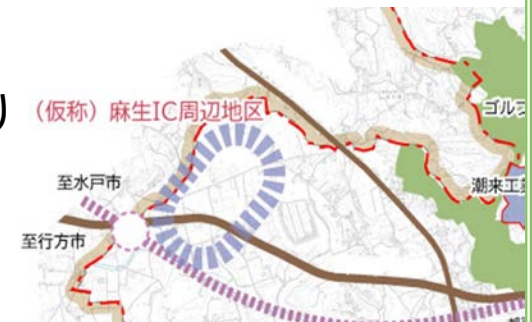
★産業振興分野

・新産業拠点整備事業

(仮称)麻生IC周辺開発 ～新たな産業拠点の形成～

雇用の創出、地域経済の活性化など持続可能な社会形成づくり

- ・地権者アンケート調査実施
- ・開発手法及び各種課題の検討に係る関係機関協議
- ・産業用地に関する需要調査実施



・地域連携拠点整備事業

潮来IC周辺開発 ～スポーツ・観光を核とした交流拠点の形成～

新しい賑わいの拠点やスポーツを核とした交流拠点形成づくり

- ・令和6年3月 地域連携拠点整備基本構想策定
- ・同年 7月 市民アンケート実施
- ※新たな賑わいの拠点やスポーツを核とした交流拠点形成の期待が多い
- ・地権者説明会の開催



※令和7年度も継続

令和6年度 主要事業の実績報告

★生活環境分野

- ・高齢者ごみ出し支援 ごみを出すことのできない高齢世帯などの戸別収集
利用者: 26件
(内訳: 潮来地区 8件、津知地区 9件、日の出地区 3件、延方地区 1件、牛堀地区 5件)
- ・交通安全対策事業 18歳以下の市民へ自転車用ヘルメット購入費の一部助成
申請件数: 42件



★土地利用基盤整備分野

- ・高速バス等通勤・通学者助成事業
高速バス又は、鉄道で通勤・通学する利用者へ定期乗車券料金の助成 最大1カ月 1万円
利用者: 29名 (通勤 4名、通学25名)
- ・若年世帯定住促進助成事業
住宅を取得し定住する若年夫婦又は若年者が親である子育て世帯に助成
上限50万円+5万円加算(子の人数分)
申請件数: 35件 (内 市外からの転入件数 7件)

令和7年度 主要事業の説明



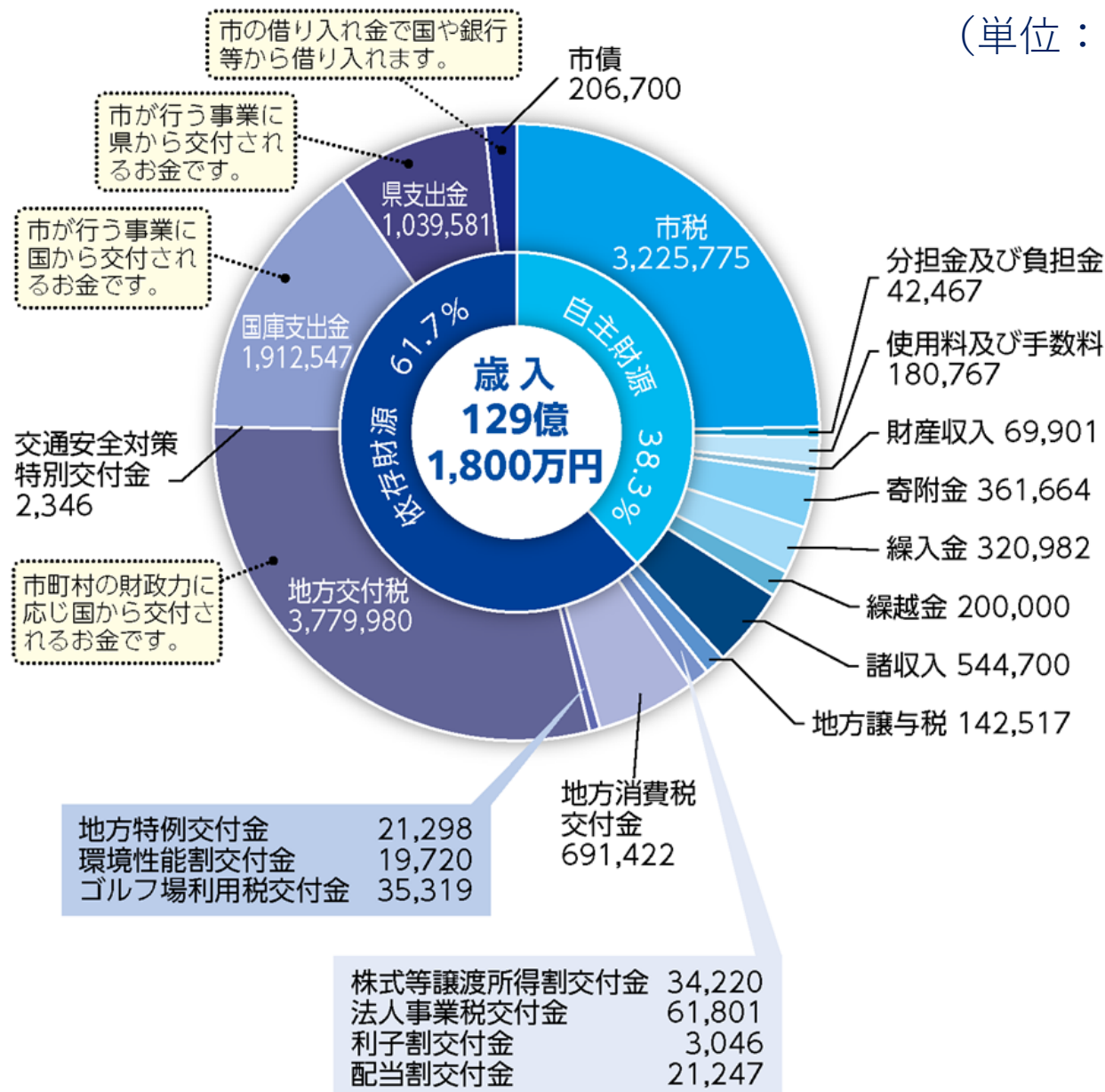
一般会計予算額 129億1,800万円
(対前年度比 ▲98,800万円 7.1%減)



予算規模

【一般会計の歳入】

(単位：千円)

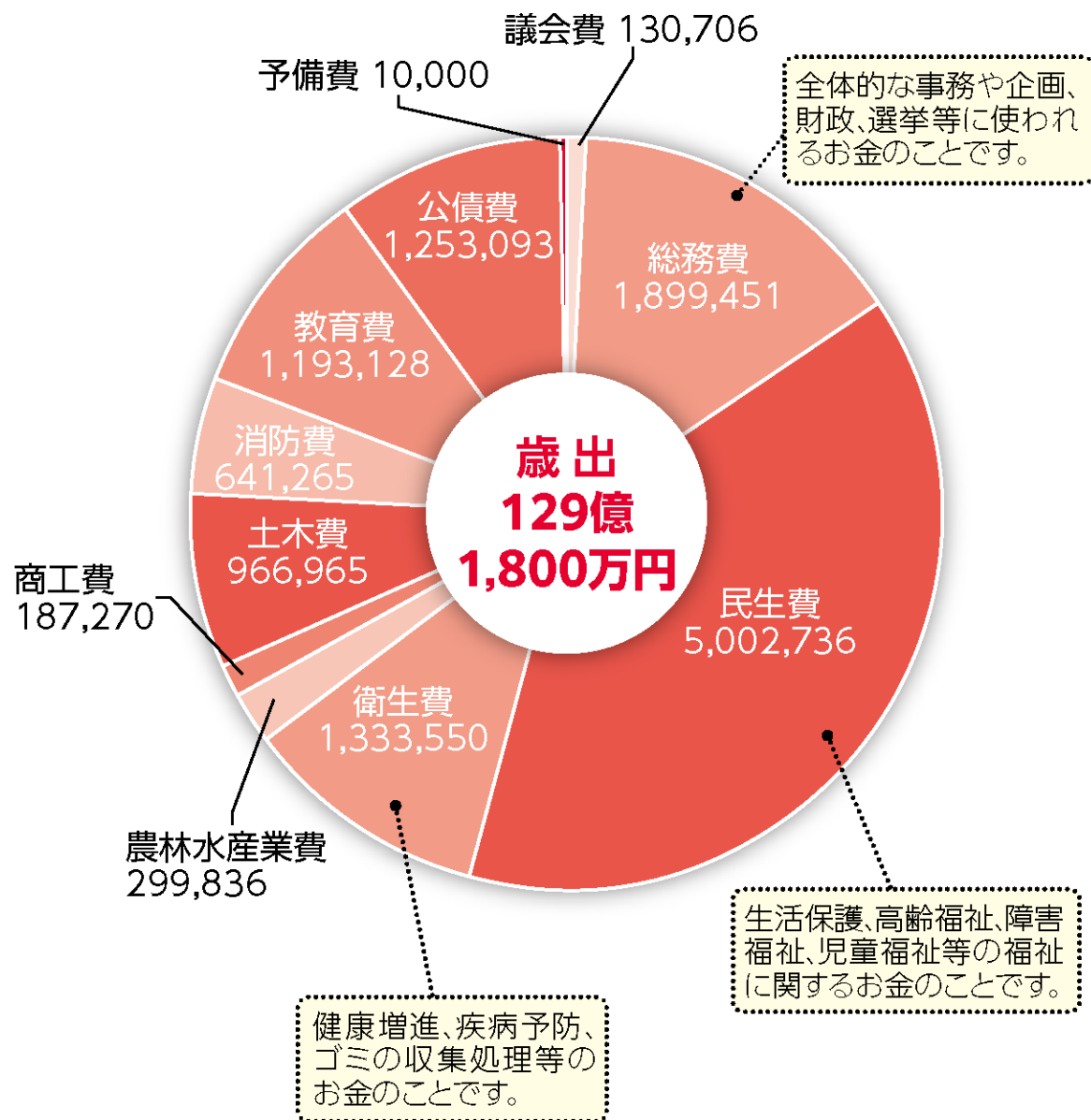




予算規模

【一般会計の歳出】

(単位：千円)





地域おこし協力隊事業 予算額 28,017千円 (特別交付税等 27,289千円)

地域の活性化を図るため、潮来市の技術を継承する隊員や若者の視点と外部の視点をまちづくりに反映できる隊員を採用。さらに、地域プロジェクトマネージャー制度を導入し地域・行政・民間の関係者を築く人材登用

区長会等事業 予算額 23,785千円 (内 ふるさと創生基金 300千円)

地域づくりの主体となる自治会のコミュニティ活動活性化
加入促進を図るためコミュニティ活動の支援等





高齢者生きがい事業

予算額

1,966千円（市単独費）

令和6年度まで実施してきた 88歳（米寿）、100歳到達者、101歳以上
高齢者に対する記念品贈呈に加え

新規 77歳（喜寿）の方へ記念品贈呈



予防接種事業

予算額

64,188千円（市単独費）

带状疱疹ワクチンの定期接種、65歳以上の5歳刻みの年齢の方に対し
1回につき4,000円助成
任意接種の助成、対象を50歳以上65歳未満として継続し
1回につき4,000円助成



ふるさとづくり寄附金制度推進事業

予算額 1億6,906万円

(ふるさと寄附金 1億6,906万円)

財源の確保を目指すため、生まれた故郷や応援したい自治体に寄附ができる「ふるさと納税」制度を積極的に活用し、
新規出品事業者や新規返礼品の開拓等を強化

ガバメントクラウド移行事業

予算額 1億4,033万円

(内 補助金収入 1億1,639万円)

デジタル庁の整備した政府共通のクラウドサービス利用環境に、
基幹20業務のシステムを移行
迅速・柔軟・安全かつコストパフォーマンスの良いシステムの利用に取り組む





全日本中学選手権競漕大会事業

予算額

24,334千円

(内 スポーツ振興くじ等 6,400千円)

“**関東地方初**”の開催となる全国の中学生在が競う、**国内最高峰のローイング大会**を潮来市で開催し、**中学生の体力・技術の向上、ローイング競技の普及・振興を図る**



学校適正化事業

予算額

9,443千円

(内 国庫補助金 5,259千円)

「第2期潮来市学校適正化計画」に基づき、学校を取り巻く変化や少子化の進展を踏まえ、児童生徒数の将来推計に基づく適正規模・適正配置を進める

令和 8年4月 『潮来小学校・津知小学校の統合』

『潮来第一中学校・牛堀中学校の統合』

令和11年4月 『中学校の一校化』を計画



主要事業

❖産業振興分野

地域連携拠点整備事業

予算額

15,027千円

(内 地域振興基金 14,980千円)

「潮来市地域連携拠点整備基本構想」における都市公園整備の具体化
や事業スキーム・整備・運営計画等の検討を行い、都市公園整備
基本計画を策定

新産業拠点整備事業

予算額

7,885千円

(内 過疎対策事業費債 6,000千円)

(仮称)麻生IC周辺地区における産業用地開発の実現を目指す
開発事業者及び立地企業等の募集
事業区域や土地利用計画等の諸条件を整理・検討

花資源観光造成事業

予算額

7,200千円

(内 第二世代交付金等 7,200千円)

水郷潮来あやめ園の藤棚などの整備
観光資源の充実化に努める





主要事業

◆生活環境分野

防犯カメラ等設置事業 予算額 2,772千円 (国庫補助金 2,772千円)

安全・安心なまちづくりを推進するため、自主防犯活動の補完として防犯カメラを設置する経費の一部に対して補助金を交付



鳥獣被害防止施設整備促進事業 予算額 1,458千円 (内 県補助金 488千円)

イノシシ捕獲に対する報償費

わな等の購入費用

鳥獣による農作物への被害防止のため、電気柵等を設置する費用の補助金交付



主要事業

◆土地利用・基盤整備分野

都市計画総務費

予算額

5,550千円（市単独費）

国道51号の交通環境を活かし、**新たな商業拠点**としての**土地利用を図る**
ため、**須賀曲松北地区の地区計画策定事業**に継続して取り組む

地域公共交通網整備事業

予算額

49,309千円

（内 地域振興基金、特別交付税 49,300千円）

「潮来市地域公共交通計画」に基づき

利便性、持続可能性の高い公共交通系の構築



道路維持事業

予算額

74,726千円

（内 国庫補助金等＋ふるさと応援基金 9,760千円）

市道の定期的なパトロールの実施、舗装修繕等の維持補修



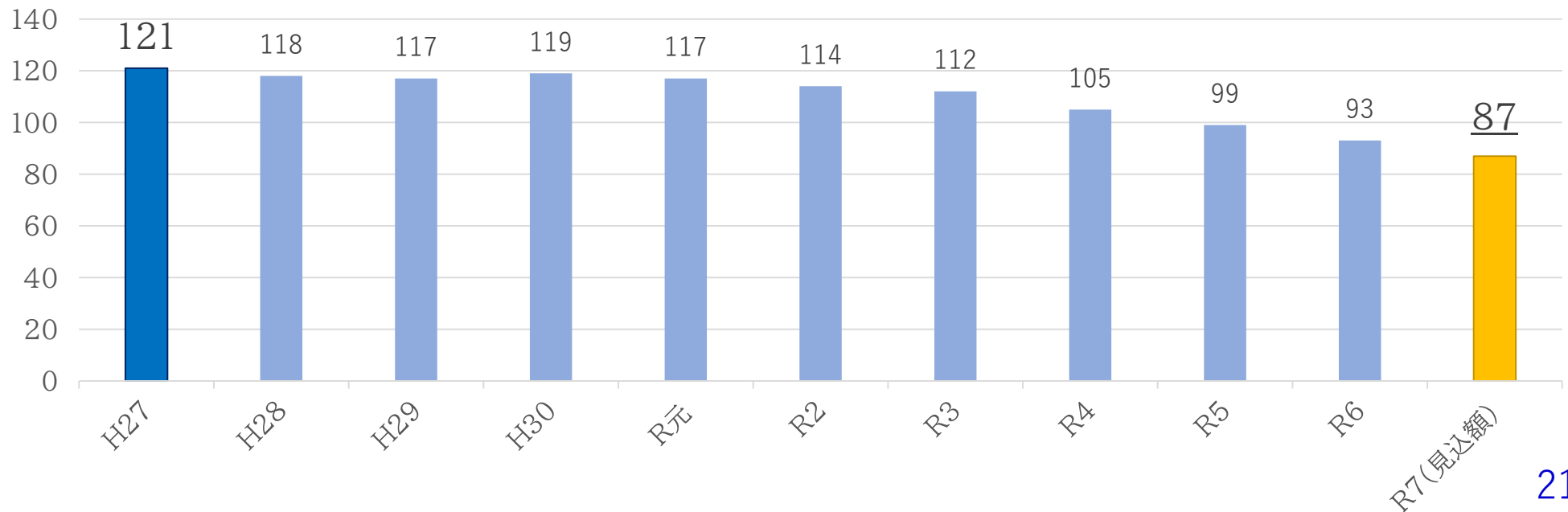
財政健全化に向けた取組【市債残高の縮減】

市債残高(R7度末見込) **87億4,066万円**
(対前年度比 ▲6億円)

過去の市債残高(H27)から**約34億円減**になりました

(単位：億円)

一般会計予算 市債残高の推移





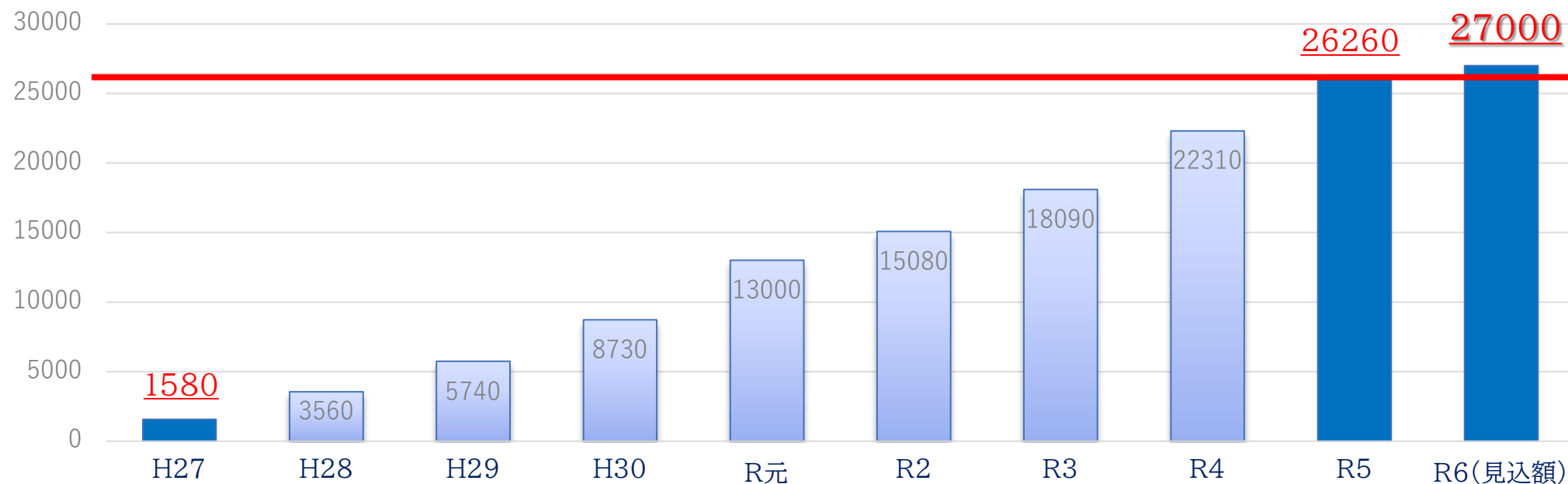
魅力あるまちづくりを目指して

【ふるさと納税寄附額アップ】

ふるさと納税寄附額

2年連続 2億6000万円突破

(単位：万円)



質 疑 応 答

事前質問の回答



《質問1》 公民館の利用区分について

【生涯学習課】

- ① 稼働状況について、空いている時間帯をもっと柔軟に活用できるような仕組みや、条例の見直しなどによって、施設の回転率や収益性を高める工夫が必要なのではないか。

また社会福祉団体が無料で利用できる制度について、形式的に会員を集めて団体化し、実質的に無料で利用しているケースがあると聞いている。そうした実態があるとすれば、本当に支援が必要な社会福祉活動との区別が曖昧になり、公民館の公平性や運用益に影響が出るのではないかと懸念している。

《提案として》

- a. 個人や少人数での利用ハードル(人数制限や料金)を下げて、もっと使いやすくすること
- b. 稼働率を上げて、公民館全体の活用を進めること
- c. 社会福祉団体の認定基準を見直し、公正で透明な利用ルールを整えること

《回答》

公民館は社会教育法や市の条例、規則などにより運営されています。この中で個人貸出しは規定されておりませんが、潮来市の公民館が市民に愛され稼働率の高い施設となるよう、社会福祉団体の認定基準も含め、今後調査研究してまいります。



《質問1》 人口減少について

【企画政策課】

- ① 潮来市の人口はなぜ減っているのか。その原因と今後の対策についてはどのような考えなのか。

《回答》

人口減少については、潮来市だけではなく日本全国での問題ではありますが、人口減少の原因については、少子高齢化の影響や転出超過などが考えられます。対策としては、これまでも働く場を確保するための企業誘致活動や創業支援、市民が安心して暮らしていくことができるよう医療機関の誘致、本市でも安心して子育てをしていただけるよう、子どもの医療費に対する助成や市内小中学生の給食費無償化等、切れ目のない子育て支援にも取り組んでおります。引き続き、「住みたいまちいたこ」の実現のため、魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。



《質問2》 ふるさと納税について

【企画政策課】

- ① 市長になられて、これまでふるさと納税の寄附額はどのように推移しましたか。現在の状況に甘えていませんか。境町のふるさと納税についてどう思われるか。今後はどのように展開するのか。

《回答》

ふるさと納税寄附額については、市長就任時の平成26年度は年間で約34万円だったものが、令和6年度の見込みでは、年間約2億7千万円であり、順調に寄附額を伸ばしてきています。潮来市民の方が他の自治体へふるさと納税される方もおり、令和7年度は約1,200万円減収(流出額:約4,800万円、国交付税による補填額約3,600万円)となりますが、トータルでいうと、経費を差し引いても約1億3千万円のプラスとなっております。しかしながら、現状(令和6年度実績)では、ふるさと納税による寄附額は鹿行地域の中で最下位の見込みであることから、危機感をもって取り組んでまいりたいと考えており、現状に満足することなく、目標は高く設定していく考えであります。

また、境町を含めた他市の事例から学ぶことも多くありますので、今後も潮来市の強みを活かした返礼品の開拓、また寄附活用先となりますプロジェクトを明確に示しながら、透明性を確保し、より多くの寄附・応援をいただけますよう、地元事業者の皆様と共に、積極的に取り組んでまいります。



《質問1》 廃校になった校歌について

【学校教育課】

- ① 潮来市では学校適正化計画に基づき統廃合が進められているが校歌の保存についてどのように考えているのか。

校歌や園歌は、学校や幼稚園などに通ったものなら誰でも歌うものだからすでに廃校になった学校の校歌も市として記録することは文化的価値があると思う。是非してほしい。

《回答》

令和8年4月に統合する津知小学校の校歌の原本については、統合先となる潮来小学校において保存することが決定しております。その時期にそれぞれの学校や幼稚園で在籍していた皆さんが歌った校歌ですから、今後も大切にしていきたいと考えています。



《質問2》 第二期学校適正化計画について

【学校教育課】

- ① 令和5年4月に「子ども基本法」が成立し、子どもの意見の尊重、児童の最善の利益、生命、生存及び発達に対する権利等を基本理念としています。第二期学校適正化計画には、「子ども基本法」に対して、どのような配慮をされているのか。

《回答》

「子ども基本法」は、子どもの権利を保障する包括的な法律であり、学校教育を含む子どもの施策全般に影響を与えます。学校の統合は子どもの教育環境を大きく変えることになるため、子どもの利益と意見を尊重し、第2期潮来市学校適正化計画の計画策定にあたっては、アンケートを実施するなど配慮して策定を行っています。

- ② 令和6年3月第二期学校適正化計画が、決定事項になったのは、いつ、どこで、だれの判断によるものなのか。

《回答》

決定事項内容は第2期潮来市学校適正化計画(令和6年3月策定)に計画の目的及び策定経過について記載されております。

また、その事務手続きについては、事務決裁が令和6年3月29日。庁内の決定会議である庁議が、令和6年4月16日。議会への説明となる議会全員協議会が令和6年5月20日。など説明を行ってまいりました。



《質問3》 学校統合について

【学校教育課】

- ① 無理な学校統合が、児童生徒にとっては、教師に関わってもらいづらい学校に、教師にとっては、担任する児童生徒が増え、指導困難な学校にすることは明らかなです。そうした問題について教育長との対話を求めましたが、対話すら拒否することを宣言されてしまいました。市長は教育長のこのような姿勢を容認されているのでしょうか。

《回答》

対話の申し出についての回答は、担当職員からの連絡だと思います。教育長との対話については、タイミングが合えばお会いすることも検討していると聞いています。したがって、対話を拒否したことについて容認していることはありません。



《質問4》 通学路内の信号機設置について

【総務課】

- ① 牛堀小学校の通学路の内、小学校に近い交差点2か所の交通信号設置について要望していきたいのですが、窓口はどちらになるのでしょうか。また、その他の行政窓口があれば、教えてください。

《回答》

信号機設置要望の窓口は、総務課 市民安心安全室になります。要望を受けまして、現地確認を行ったあと、行方警察署に相談・要望をさせていただきます。

なお、信号機設置につきましては、茨城県警察及び茨城県公安委員会が決定することになりますので、ご理解の程、よろしくお願いいたします。



《質問1》 嫁入り舟のイベントについて

【観光商工課】

- ① 女性衣装について、潮来市の中で『和装の正装』として定まりがあるのであれば、男性側についても黒紋付(無地)・仙台平など、同様に伝統的な正装スタイルを基準として整えていくのも良いのではないか。

また近年は嫁入り舟のイベント全体の中でも男性に注目が集まる場面が増えていきます(あやめ園内での練り歩き等)。今後、例えばLGBTQ+のカップルなど、多様な参加形態が検討される日が来る可能性もあるのではないか。その際にも対応できるよう、男女の性別はもちろんのこと、性別にとらわれず『嫁入り舟というセレモニーにふさわしい和装の正装スタイル』を整理・確立しておくことは、とても意義があるのではないか。

《回答》

嫁入り舟については、伝統及び古式姿、魅力や興味を持たれ、全国より多くの方にご応募を頂いており、潮来市にとって魅力あるイベントとなっております。

嫁入り舟で着用する衣装につきましては、事業者様などからのご好意により寄付されたものなどを利用しているため、デザインは統一されておりません。

ご指摘のとおり男性の衣装につきましても、伝統的な正装スタイルを基準として整えられるよう検討してまいります。

そのような中ではございますが、今後も水郷の伝統的な嫁入り舟を再現し、花嫁は白打掛、花婿は羽織・袴の基本スタイルを引き続き守っていきたいと思っております。

LGBTQ+については、今までも、平等に受付をしております。これまでの「嫁入り舟」の伝統スタイル等をご理解して頂くよう努めてまいります。



《質問1》 水道料金について

【上下水道課】

- ① 一人暮らしをしており、水道料金が常に最低額の3,905円でいくら節水しても料金が下がらない状況。調べたところ、11立方メートルを超えてから使用量に応じた加算があるとのことでしたが、0～10立方メートルの範囲でも実際の使用量に応じて段階的な料金設定ができないか、検討していただきたい。

一人暮らしで特に若年層の場合、限られた収入の中でインフラコストが高いと、生活が圧迫され、住み続けたい自治体とは思えなくなってしまう。加えて、環境負荷を減らす意味でも、節水にインセンティブが働く料金体系が望ましいのではないかと。

《回答》

潮来市は都市部などに比べ人口が密集しておらず、今後施設の改修などもございます。基本料金におきましては、施設を維持するために固定的にかかる経費等を賄う財源となっておりますので、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

※3,905円内訳(水道口径:13mm・メーター器使用の場合)

水道:2,145円(10m³まで、税込)

下水道:1,760円(10m³まで、税込)



《質問2》 令和5年(2023年)に発生した台風2号の対応について 【総務課】

- ① 広報いたこ2023年12月号(P4～5)に掲載された台風2号の対応について、前川地区の越水の原因は、鰐川と前川間の水門が台風通過後も開いていたからなので、状況把握されていない。要望、国の河川事務所、県の土木事務所、土地改良区と情報共有して、対応してもらいたい。

《回答》

当時の記録によりますと、市役所と関係機関の連携により、前川水門や大洲水門、米島水門について閉門し、排水作業を実施していることが確認できますが、深夜から朝方にかけての作業から、時間を要しておりました。今後は、ご指摘にありますように、台風の位置や河川水位の動向等に充分留意して、早期の対応を図ってまいります。



《質問3》 潮来駅での切符販売について

【企画政策課・観光商工課】

① 潮来駅で新幹線などのきっぷを購入するようにできないのか。

《回答》

JR東日本では、チケットレス化・モバイル化を推進しており、「みどりの窓口」も縮小していることから、新幹線の切符を購入する「みどりの窓口」の誘致や「券売機の設置」については、困難であるとはっておりますが、重要な公共交通機関である潮来駅や延方駅の利便性向上については、今後もJR東日本へ要望するなどして、取り組んでまいります。

現在の潮来駅の窓口業務におきましては、JRの社員が行っているのではなく、水郷潮来観光協会の職員が駅の運営委託を受けており、その中で普通乗車券の販売を行っている状況です。そのような状況でございますので、潮来駅におきまして、新幹線などの切符の購入につきましては、難しい状況であります。

JRに確認したところ、新幹線や特急券等はJR鹿島神宮駅・JR佐原駅、インターネット(えきねっと)で購入できるとのことです。ご理解をお願いいたします。

※窓口開設時間

(8:30～10:30・11:00～12:30・14:30～17:30)



《質問4》 県民の森について

【農政課】

- ① 環境保全に反するが、夏場に大量発生する蜘蛛を駆除できないか。また、トイレの回りだけでも駆除できれば、利用者も増えるのではないか。

《回答》

茨城県水郷県民の森につきましては、茨城県の施設であります。施設を管理しております指定管理者である公益社団法人茨城県農林振興公社へ要請させていただきます。

《質問5》 ごみ袋について

【環境課】

- ① ペットボトルのゴミ袋も透明の袋に次年度から変更できないのか。

《回答》

市販の透明袋は厚さがバラバラであり、瓶などの重量物が入ると破れてしまうため、市の緑色資源袋は厚みのある仕様としていますので、変更の予定はありません。



《質問6》 側溝の蓋整備について

【都市建設課】

- ① 本年度予算から日の出地区の側溝の蓋整備費用がカットされた事を知りました。毎年側溝に脱輪する車を見ます。子供らが転落して怪我をしないか心配です。ゴミや雑木も見られ非常に不快です。このような状態を放置する市の行政には疑問を感じます。開口部には柵(蓋)をしてほしい。

《回答》

通学路をはじめとする生活道路の安全確保におきまして、側溝の蓋掛けを初め、交差点や道路における通学路など危険個所の洗い出しを行い、必要な安全対策を講じてまいりたいと思います。



《質問1》 企業の誘致について

【企業立地戦略室・都市建設課】

- ① なぜ、ロッテの2軍施設を誘致できなかったか。その原因について検証したのか。いろいろな地区計画を策定していますが、果たしてその実効性はあるのですか。

《回答》

千葉ロッテマリーンズファーム本拠地誘致に関する取り組みでは、令和6年2月の募集開始時から令和7年3月の候補地決定までの約13ヶ月に渡り取り組んでまいりました。結果については、最終選考の4自治体にまで残ったものの、千葉県君津市に移転先を決定した旨、球団側より通知を受けてございます。

各自治体の提案内容を把握していないため、選定されなかった原因等について検証することはできませんが、選定された君津市様の提案内容がすばらしく、潮来市の提案内容より球団に高く評価されたためと考えております。

一方で、潮来市のポテンシャルや提案内容も一定程度高く評価されたため、応募された31自治体のうち、最終選考の4自治体に残ることができたものと受け止めております。

引き続き、潮来市が持つポテンシャルを十分にアピールしながら、企業誘致事業に取り組んでまいりたいと考えております。

地区計画は地区の将来像を定め、それに必要な地区施設の配置、土地利用や建物等の規制・誘導のあり方を示す制度で、潮来市ではこれまで、4地区において地区計画制度を導入してきました。その1つの稲井川地区計画区域では、行政による市道の整備、民間事業者による投資が一体となって進んでおり、地区計画による誘導の効果が現れている状況と考えています。

その他の計画区域においても地区計画に沿った誘導が行われおり、引き続き、土地所有者や事業者と連携しながら地区計画に沿ったまちづくりに取り組みます。



《質問2》 市立図書館の出入り口について

【生涯学習課】

- ① 今の出入り口は他から来る人に分かりにくいし危険である。安全且つ分かりやすい出入り口に出来ないか。

《回答》

市立図書館の出入り口については、以前より分かりにくく危険であるとのことのご意見を伺っています。市立図書館は利用率の高い人気の施設でありますので、市民の皆さまが分かりやすく安全に来館できる施設を目指してまいります。



《質問1》 市民に優しい事業所づくりについて 【企画政策課・秘書課】

① 徳島県に日亜化学工業株式会社という化学材料系のグローバル企業(売上5000億円)が有り、従業員の特殊出生率は、徳島県全体の倍にもなっています。その理由は、従業員のライフスタイルに柔軟に対応出来る企業でありたい…という企業の姿勢で、その具体策が福利厚生制度です。最初にハート有り、であり、施策はその結果です。潮来市の事業所の多くが、この「気持ち」を持って従業員を支援する制度が出来れば、雰囲気は大きく変わる。家庭の家計を支える仕事、職場、職員の「気持ち」があれば、結婚にも、出産にも、子育てにも不安が無く、夢が持てる。潮来市がそうなるように、市長も議員も街に出て、事業者一人一人を説得して回りませんか。

《回答》

徳島県の民間企業の取り組みと、それらによる従業員の特殊出生率の向上事例は、企業による少子化対策の有効性を示す素晴らしい事例だと思います。これまで、潮来市としても子育て支援はとても重要な施策であると考えており、行政としてできる取り組みとして、いち早く小中学校給食費の無償化やランドセルの贈呈などに取り組んできたところです。しかしながら、行政だけではカバーしきれない部分もあるため、企業へのアプローチは重要だと考えます。その手法については、ご提案の「1件1件直接のご訪問」もひとつだとは思いますが、まずは潮来市商工会と連携強化し、参考となる事例などの情報共有や、協力を求めるなど働きかけを行い、地域全体で子育て支援を含めた持続可能なまちづくりにつなげてまいりたいと思います。

潮来市の人口減少に歯止めをかけるため、これまでも「市民の皆さまの立場になり」結婚・出産・子育てなどその場面に応じて何が必要とされているのかを考え様々な少子高齢化対策を実施して参りました。

この徳島県の民間事業の取組みのように、行政だけではなく事業所等への働きかけも必要であると考えております。

今後も住みたいまち潮来を実現するためにも市民の声に傾聴しながら市政運営に取り組んでまいりたいと思います。

ご清聴ありがとうございました